

重要水防箇所

○重要水防箇所評定

洪水時に行う河川の巡視や水防活動の必要性の高い箇所を、事前に「重要水防箇所」として設定・周知しておくことにより、消防団の方々が、洪水時の巡視等が効率的・効果的に実施でき、危険な箇所の早期発見・対処につなげるものです。

また、平成31年3月に重要水防箇所評定基準(案)が改定されたことを踏まえ、筑後川・矢部川水系では、令和2年度より適用しています。

○評定項目と改訂項目

No	H31年度(R元年度)	R2年度
1	堤防高(流下能力)	越水(溢水)
2	堤防断面	評価しない
3	法崩れ・すべり	堤体漏水
4	漏水	基礎地盤漏水
5	水衝・洗掘	変更なし
6	工作物	変更なし
7	工事施工	変更なし
8	新堤防(破堤跡、旧川跡)	変更なし
9	陸閘	変更なし

重要水防箇所

○ 評価基準の見直し(概要)

種別を想定する水防活動等のきっかけとなる現象で整理

堤防高 → 越水(溢水) ※表現のみ

堤防断面、法崩れ・すべり、漏水 → 堤体漏水、基礎地盤漏水 ※下記イメージ参照

改定前 (H18.10)

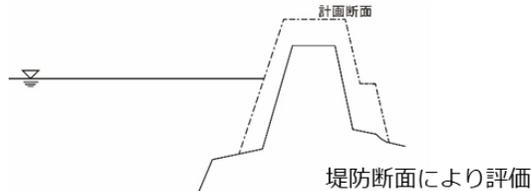
改定後 (H31.3)

○水防活動を要する現象を対象とする→堤体漏水・基礎地盤漏水

○「堤体漏水」に新たな指標を導入

堤防断面

・ 現況の堤防断面あるいは天端幅が計画の堤防断面あるいは天端幅をみたしていない箇所



法崩れ・すべり

・ 法崩れ又はすべりの実績がある、もしくは堤体あるいは基礎地盤の土質、法勾配等からみて発生するおそれのある箇所

漏水

・ 漏水の履歴がある、もしくは破堤跡又は旧川跡の堤防であること、あるいは基礎地盤及び堤体の土質等から見て漏水が発生するおそれのある箇所

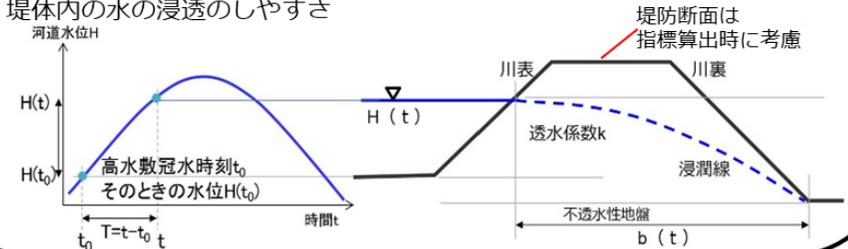
堤体漏水

以下の指標により評価を行う

- ①被災履歴、点検結果
- ②堤防脆弱性指標
- ③すべり破壊に対する安全性照査
- ④その他堤体漏水が生じる可能性があると考えられる箇所

○堤防脆弱性指標

- ・ 【冠水時間(洪水継続時間) / (浸透水が裏のりに到達するまでの時間)】
- ・ 堤体内の水の浸透のしやすさ



基礎地盤漏水

以下の指標により評価を行う

- ①被災履歴、点検結果
- ②基礎地盤のパイピング破壊に対する安全性照査
- ③その他基礎地盤漏水が生じる可能性があると考えられる箇所

重要水防箇所

○重要水防箇所評定基準(1/2)

種別	A 水防上最も重要な区間	B 水防上重要な区間	要注意区間
越水 (溢水)	計画高水流量規模の洪水の水位(高潮区間の堤防にあつては計画高潮位)が現況の堤防高を越える箇所。	計画高水流量規模の洪水の水位(高潮区間の堤防にあつては計画高潮位)と現況の堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。	
堤体漏水	<p>堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴(被災状況が確認できるもの)があり、類似の変状が繰り返し生じている箇所。</p> <p>堤体の土質、法勾配等からみて堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の生じるおそれがあり、かつ堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴(被災状況が確認できるもの)がある箇所。</p> <p>水防団等と意見交換を行い、堤体漏水が生じる可能性が特に高いと考えられる箇所。</p>	<p>堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴(被災状況が確認できるもの)があり、安全が確認されていない箇所、又は堤防の機能に支障は生じていないが、進行性がある堤体の変状が集中している箇所。</p> <p>堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴(被災状況が確認できるもの)はないが、堤体の土質、法勾配等からみて堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の生じるおそれがあると考えられる箇所。</p> <p>水防団等と意見交換を行い、堤体漏水が生じる可能性が高いと考えられる箇所。</p>	

重要水防箇所

○重要水防箇所評定基準(2/2)

種別	A 水防上最も重要な区間	B 水防上重要な区間	要注意区間
基礎地盤漏水	<p>堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴(被災状況が確認できるもの)があり、類似の変状が繰り返し生じている箇所。 基礎地盤の土質等からみて堤防の機能に支障が生じる変状の生じるおそれがあり、かつ堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴(被災状況が確認できるもの)がある箇所。 水防団等と意見交換を行い、基礎地盤漏水が生じる可能性が高いと考えられる箇所。</p>	<p>堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴(被災状況が確認できるもの)があり、安全が確認されていない箇所、又は堤防の機能に支障は生じていないが、進行性がある基礎地盤漏水に関する変状が集中している箇所。 堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴(被災状況が確認できるもの)はないが、基礎地盤漏水の土質等からみて堤防の機能に支障が生じる変状の生じるおそれがあると考えられる箇所。 水防団等と意見交換を行い、基礎地盤漏水が生じる可能性が高いと考えられる箇所。</p>	